

平成28年度行政事業レビューシート (内閣府)

事業名	公益法人制度の適正な運営の推進に必要な経費			担当部局庁	公益認定等委員会事務局 大臣官房公益法人行政担当室		作成責任者				
事業開始年度	平成19年度	事業終了 (予定) 年度	終了予定なし	担当課室	総務課		総務課長 明渡 将				
会計区分	一般会計										
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	・公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律 ・一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律			関係する計画、 通知等	-						
主要政策・施策	-			主要経費	その他の事項経費						
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	公益法人による公益活動を支援するとともに、法人の自己規律の確立や適正な法人運営の確保を図ることにより、公益法人の活動の健全な発展を促進し、「民による公益の増進」を推進する。										
事業概要 (5行程度以内。別添可)	<ul style="list-style-type: none"> ・新制度に基づく法人からの申請等に係る審査・諮問・委員会答申に基づく認定等 ・新制度の周知や申請促進を図るためのホームページ等を通じた広報等の実施 ・公益認定等総合情報システム(※)の管理・運営 ・※申請者による種類の提出や、行政庁における業務処理をオンラインで実施することを可能としたシステム ・公益社団・公益財団法人等に対する適切な監督の実施 										
実施方法	直接実施										
予算額・ 執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	当初予算	25年度	130.5	26年度	93.8	27年度	89.2	28年度	96.4	29年度要求
		補正予算	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		予備費等	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		計	130.5	93.8	89.2	96.4	0				
	執行額	127.6	70.5	74.6	-	-					
	執行率 (%)	98%	75%	84%	-	-					
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 28 年度		
	「民による公益の増進」を担う公益法人の増加 ※25年11月末をもって移行期間が満了したため27年度から目標を変更。 ※前年度の実績に基づき目標値を記載している。	国所管の公益法人数 ※年度末の公益法人数	成果実績	法人	-	2,348	2,386	-	-		
			目標値	法人	-	-	2,388	-	2,426		
			達成度	%	-	-	100	-	-		
成果目標及び成果実績(アウトカム)欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙1】に記載								<input type="checkbox"/> チェック			
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込				
	公益認定等総合情報システムによる電子申請の推進により申請、審査等の効率化等を行う。 ※活動指標は電子申請率とした。 ※電子申請率とは公益認定申請、移行認可申請、変更届出、事業計画提出、事業報告提出、実施報告書提出についての率	活動実績	%	99	99.4	99.5	-				
		当初見込み	%	100	100	100	100				
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込				
	所管法人に対する立入検査件数 ※活動指標は立入検査件数とした。	活動実績	件	151	553	763	-				
		当初見込み	件	-	650	750	700				

単位当たりコスト	算出根拠		単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込
	予算執行額／電子による公益認定申請数、移行認可申請数、変更届出(公益法人)数、事業計画提出数、事業報告提出数、実施報告書提出数 ※予算執行額のうちシステムに関する経費部分の55%は都道府県が負担 ※25年度は移行期間のため以下のとおり ①÷(②+③) ①予算執行額 ②各年度移行申請件数(国+都道府県) ③前年度までの移行済み法人数(国+都道府県)※提出書類等電子申請	単位当たりコスト	円	6,445	1,780	1,802	-
		計算式	/	127,605千円 / (2,556件+17,240法人)	70,467千円 / 39,596件	74,620千円 / 41,421件	96,429千円 / 電子による公益認定申請数等
単位当たりコスト	算出根拠		単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込
	予算執行額／立入検査法人数	単位当たりコスト	円	-	12,013	10,130	-
		計算式	/	-	6,643千円 / 553法人	7,729千円 / 763法人	15,978千円 / 立入検査法人数

平成28・29年度予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目	28年度当初予算	29年度要求	主な増減理由			
	職員旅費	8					
	委員等旅費	8					
	庁費	27.4					
	情報処理業務庁費	53					
計	96.4	0					

政策評価、経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	政策	公益法人制度の適正な運営の推進 15							
	施策	公益法人制度の運営と認定・監督等の実施 50							
	測定指標	定量的指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 - 年度	目標年度 28 年度
		HP「公益information」へのアクセス数 ※目標値は対前年度比増としている。	実績値	件	5,064,515	3,951,674	3,049,136	-	-
			目標値	件	-			-	
		定量的指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 - 年度	目標年度 28 年度
		定期立入検査の実施件数	実績値	件	170	606	721	-	-
			目標値	件	-	650	750	-	700
	定量的指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 - 年度	目標年度 28 年度	
	税額控除対象法人の法人数 ※目標値は対前年度比増としている。	実績値	法人	-	801	949	-	-	
目標値		法人	-	-	-	-			
本事業の成果と上位施策・測定指標との関係									
○ホームページ「公益information」を通じた情報発信 ・法人データベース、法人活動事例紹介等 ・法人運営の参考となる情報、監督に関する情報提供等 ・申請書の記載例等 ○定期刊行の広報誌「公益認定等委員会だより」、パンフレット「民間が支える社会を目指して」の発行など各種媒体の活用 ○内閣府職員による窓口相談、民間の専門家を活用した相談会、申請法人を対象とした内閣府職員による基礎的研修会等の法人支援 ○監督のための職員による公益法人への立入検査									

事業所管部局による点検・改善

項目		評価	評価に関する説明
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	主務官庁の裁量権に基づく許可の不明瞭性等の従来の公益法人制度の問題点を解決することを目的として、法律に基づき平成19年から開始された制度であり、国民や社会のニーズに合致している。
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	法律に基づき国所管の公益法人等に対し立入検査等を実施する事業である。また、システムについては都道府県も利用するが、利用契約を締結し所定の分担金の支払いを受けている。
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	民間非営利部門の活動の健全な発展を促進し「民による公益の増進」に寄与するための①国所管法人の監督のための立入検査、②申請・審査手続きの簡略化・迅速化のためのシステム運用であり、法律を所管している国が実施する必要がある。
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	調達（5年間の国庫債務負担行為を活用）は平成25年度に一般競争入札を行っており、競争性の確保やコストの低減に努めている。
	一般競争入札、総合評価入札又は随意契約（企画競争）による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	無	
	競争性のない随意契約となったものはないか。	無	
	受益者との負担関係は妥当であるか。	○	システムについては都道府県も利用するが、所管法人数に基づき利用契約を締結し所定の分担金の支払いを受けている。
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	○	システムについては都道府県も利用するが、所管法人数に基づき利用契約を締結し所定の分担金の支払いを受けている。立入検査旅費については可能な限りパック等を利用することにより、効率的に実施するよう努めている。
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-	
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	公益認定等総合情報システムやホームページの管理・運営に必要な経費及び所管法人に対する立入検査に必要な旅費等の他に必要な経費のみに限定して支出している。
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。（理由を右に記載）	-		
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	○	立入検査時の出張行程を工夫して一度の出張で複数法人の検査を行うなど業務の効率化を図るとともに、可能な限り旅行パック商品を利用するなどコスト削減の取組を行っている。	
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	○	法人の増加数がかかるよう、成果実績を国所管の法人数とした。
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	電子申請率は、99.5%と高い数値を維持している。立入検査法人数については、目標を達成している。
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○	システムを利用した申請は99.5%に達している。
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。（役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載）		
	所管府省・部局名	事業番号	事業名
	-	-	-
点検・改善結果	点検結果	【目標の達成状況の検証】 平成20年12月の制度開始から、25年11月末をもって移行期間が終了し、26年度からは移行審査中心の業務から、審査・監督業務が中心となった。移行期間に引き続き、毎年度の新規法人の公益認定申請や定期提出書類等について電子申請により法人の申請に関する利便性の向上に努めた結果、電子申請率は依然として99%を超えている。 また、監督対象となる公益法人に対し、3年に一度立入検査を実施することとなっているため、法人対象数を踏まえ、平成27年度において、立入検査法人数を750を目標としたが、目標を達成している。	
	改善の方向性	【今後の方向性】 移行期間が終了し、今後は新たに公益認定申請を希望する法人が増え、「民による公益の増進」がなされるよう、各種媒体を活用した情報発信、各種相談対応等を通じて制度の周知に努めるとともに、申請システムを高年齢者にもわかりやすい画面・システムとするなど、法人側に合ったシステムに改善し、迅速な申請手続き・審査を達成することにより、引き続き効果的、効率的経費の執行に努める。さらに、公益法人に対する寄附について、寄附を受ける法人側、寄附者側それぞれの意識や現状について把握し、必要な情報の周知等を通じて寄附者の拡大を図り、公益法人の活動を資金面から支えることで、公益法人への申請が増加するよう努める。	

外部有識者の所見

点検対象外

行政事業レビュー推進チームの所見

所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況

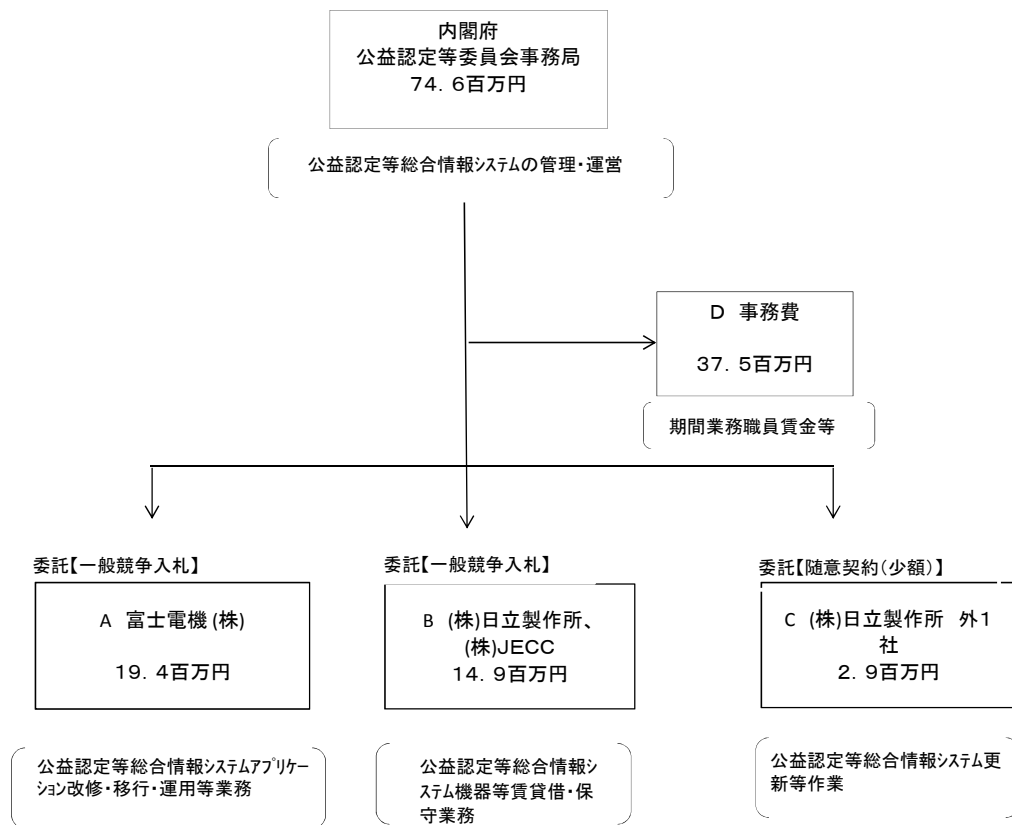
備考

国・都道府県公式公益法人行政総合情報サイト「公益法人Information」 <https://www.koeki-info.go.jp/index.html>

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成22年度	138	平成23年度	150	平成24年度	145		
平成25年度	102	平成26年度	100	平成27年度	107		

※平成27年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

A.富士電機(株)			B.(株)日立製作所、(株)JECC		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
外部委託	公益認定等総合情報システムアプリケーション改修・移行・運用等業務	19.4	外部委託	公益認定等総合情報システム機器等賃貸借・保守業務	14.9
計		19.4	計		14.9
C.(株)日立製作所			D.期間業務職員1		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
外部委託	公益認定等総合情報システム更新等作業	1.9	人件費	期間業務職員賃金	3.5
計		1.9	計		3.5

費目・使途
 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載 チェック

